

チーム A 愛知1位、東海大会2位	6 7	17	1ST	28	8 6	チーム B 山形1位、東北大会1回戦敗退
愛知産業 大学工業 (2年連続22回目)		19	2ND	14		県立 山形南 (2年連続14回目)
		15	3RD	23		
		16	4TH	21		

スターター(平均身長 182.6cm)

番号	身長	P	学年	出身中学	得点
4番	178cm	SG	3年	(原)	11
5番	193cm	C	3年	(蟹江)	23
6番	183cm	F	3年	(岩成台)	3
10番	188cm	CF	2年	(大府西)	9
11番	171cm	PG	2年	(大木)	8
7番	170cm	PG	3年	(矢作北)	9
8番	188cm	CF	3年	(知多八幡)	4
12番	182cm	F	2年	(南陽)	0

スターター(平均身長 181.0cm)

番号	身長	P	学年	出身中学	得点
4番	181cm	PG	3年	(山形六)	4
5番	181cm	CF	3年	(大江)	18
7番	177cm	SG	3年	(朝日)	26
11番	185cm	PF	2年	(高島四)	16
12番	181cm	SG	2年	(酒田六)	12
8番	181cm	PF	3年	(山形四)	4
9番	168cm	PG	3年	(山形五)	0
10番	176cm	G	2年	(山形六)	6

P : position(ポジション)

第1ピリオド、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。高さに勝る愛産大工に対し、山形南は機動力とスピードで対抗。序盤#7今野の3Pシュートや、#5松田のドライブで先に流れをつかんだのは山形南。愛産大工は#5伊澤のインサイドで得点するが、山形南のダブルチームや寄りの早いタイトなdefに苦しみ中々得点が伸びず山形南が28-17とリードして終了。

第2ピリオドも山形南は開始早々#7今野が3Pシュートを決める。しかし、すぐに愛産大工も#5伊澤がバスケットカウントを決めて対抗する。その後山形南はタイトなdefと早いローテーションで簡単に得点を許さない。対して愛産大工は高さを生かしたdefで、山形南のペネトレイトからのシュートをことごとくブロックショットする。一進一退の攻防が続く中で、先にタイムアウトを取ったのは愛産大工。残り3分となったところから、愛産大工は#5伊澤・#10松尾のインサイドを起点としたoffで連続得点し、6点差に詰め寄り前半終了。

第3ピリオド、ミスが続いた愛産大工を尻目に、山形南はピックアップミスでのeasyシュート・ハイポストからの合わせ・#11鈴木のハイポストからの1on1・#4千葉のダイナミックなoffリバウンドからの#7今野3Pシュートなど多彩なoffを展開。点差を14点差に広げる。一方、愛産大工は#11三宅が果敢にアウトサイドシュートを狙うが、単発に決まるだけで後が続かずoffの攻め手を欠いてしまう。

第4ピリオド、愛産大工は#5伊澤のインサイド#7のドライブで反撃を試みるが、焦りからかeasyミスをしてしまい続かない。山形南は#5松田の角度のないエリアからのジャンプシュートがことごとく決まり追撃を許さない。残り3:18で得点は78-65で山形南のリードは変わらない。最後まで集中力を保ち戦った山形南の見事な試合であった。

(強化部戦術戦略委員会)

